

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

「多面的機能の維持・発揮活動 第12回みえのつどい」が開催されました

『世代を超えて地域の“きずな”を育もう、それは未来への種まき』

令和元年12月14日(土)三重県総合文化センターにおいて、県内の活動組織や県内外の関係者約1,200名が一堂に会して、「世代を超えて地域の“きずな”を育もう、それは未来への種まき」をテーマに、第12回みえのつどいが三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催されました。

今回も、多くの活動組織の方々にご参加いただき、全体会の会場である三重県総合文化センター中ホールに入りきらなくなったため、昨年と同様中ホールと多目的ホールの2か所でライブ中継となりました。

まず、全体会を中ホール(多目的ホール同時中継)で、その後同センター内で5つのテーマに分けた分科会を開催しました。

全体会では、まず主催者を代表して渡邊三重県副知事より挨拶があり、引き続き来賓の挨拶、紹介がありました。その後、本年度に受賞された優秀活動組織表彰に移り、大野審査委員長の全体講評の後、優秀活動に選ばれた6組織の代表に渡邊三重県副知事から賞状と記念品が授与された後、優秀活動組織の代表者と主催者代表、来賓を囲み記念



優秀活動に選ばれた6組織のみなさんと渡邊三重県副知事、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会福岡副会長、中島三重県議会議長との記念撮影

写真の撮影を行いました。

さらに「みえの農村・守ってます、私たちの地域!!」をテーマとしたフォトコンテストでは、2部門で最優秀賞1作品、優秀賞2作品が発表され、賞状と副賞が事務局より授与されることが報告されました。

引き続き、基調講演に移り、合同会社 人・まち・住まい 研究所 代表社員 浅見雅之氏より「人口減少社会における新たな地域づくり」と題してご講演いただき、全体会は終了しました。



渡邊三重県副知事 挨拶



大野審査委員長 全体講評



基調講演の様子

その後休憩を挟み、参加者はおの希望したテーマの分科会の研修を受けるため各会場へ移動しました。

第1分科会では、「多面的機能支払の取組事例報告」をテーマに、県内外2組織から報告をいただきました。

岐阜県の「高須輪中保全広域組織」からは土地改良区との連携による活動に取り組んでいる事例、伊賀市の「ねの

び地域資源保全会」からは活動の体制強化に取り組んでいる事例の報告があり、参加する活動組織の質の向上を図りました。

第2分科会では、「より良い地域づくりに向けて」～次世代リーダーへの継承・活動の自立に向けた体制づくり～をテーマに、第3分科会では、「むらの応援企業を呼び込もう!」～企業と連携したむらづくり～をテーマに、第4分科会では、「三重まるごと農村体験」～子供たちとともに取り組む地域活動～をテーマにワークショップを行いました。

第5分科会では、「実践活動(畦畔保全・補修メンテナンス・保険等)」をテーマに、雑草対策として緑草インストラク

ターの小西真衣氏より雑草の生態とその管理につき講演を、企業からは防草シートの説明、全共連の担当者からは「活動にかかるイベント共済の内容及び契約手続きについて」の案内を受け、説明終了後の意見交換では、参加者は会場内だけでなく会場外にも設けた企業ブースに自由に移動し、興味あるブースの担当者からおのこの疑問点等の説明を受けていました。

盛会のうち分科会も終了し、参加者は帰路に着きました。

また、会館内では活動組織紹介、フォトコンテスト応募作品の展示、三重県PRブース等が設けられ、参加者は時間の合間を見計らって見入っていました。



第1分科会(高須輪中保全広域組織)の様子



第1分科会(ねのび地域資源保全会)の様子



第2分科会の様子



第3分科会の様子



第4分科会の様子



第5分科会の様子

優秀活動表彰受賞組織

部門名	活動組織名	市町名
施設部門	中ノ村地域資源保全会	津市
農村環境部門	津村町地区農地・水・環境保全会	伊勢市
コミュニティ部門	こころ豊かなあわの村	伊勢市
パブリシティ部門	智積農地水環境を守る会	四日市市
地域共同活動部門	安塚農地・水・環境を守る会	鈴鹿市
審査員特別賞	小天狗の里やまで	伊賀市

フォトコンテスト受賞作品

部門名	作品名	活動組織名	市町名
維持保全活動部門	力を合わせて伐木	大野木環境保全会	伊賀市
	水路の泥上げ、やっぱり楽しんだな～	智積農地水環境を守る会	四日市市
	ヒメイワダレソウ植付	大安新田地区を守る会	いなべ市
農村環境活動部門	いろんな魚、いっぱい獲ったんで～	智積農地水環境を守る会	四日市市
	園児の田植体験	大足地域資源保全会	松阪市
	ひまわり畑で	中道農と水資源保全会	松阪市

「第5回紀北のつどい」を開催しました

令和元年11月21日(木)紀北町役場の会議室において、尾鷲管内の活動組織8組織、関係者を含め34名が参加し、多面的機能の維持・発揮活動を行っている活動組織の相互の情報交換や意見交換を行うことを目的に、「令和元年度多面的機能の維持・発揮活動 第5回紀北のつどい」を開催しました。本つどいでは、基調講演、意見交換会などを行いました。

基調講演では、兵庫県立大学自然環境科学研究所の山端教授から「獣害対策について」と題して、近年社会問題となりつつある野生獣による被害事例、被害対策の取組みを実施している地区の紹介、獣害被害に遭わないための予防対策などのお話をいただきました。尾鷲管内についても、イノシシ、シカ、サルの獣害被害が毎年、数多くあるとのことで、多面的活動組織の方々も、熱心に講演を聞いていただきました。

また、意見交換会では、今回、「獣害対策」をテーマに地区の取り組み状況や苦慮していることなど活発に意見交換

をしていただきました。

最後に今後も、多面的機能の維持・発揮活動 紀北のつどいを継続していくことで、活動組織の方々の交流と情報交換の場となるよう、より良いものにしていくように支援していきたいと思っています。



基調講演の様子



意見交換会の様子

「第2回熊野地域のつどい」を開催しました

令和2年2月7日(金)に三重県熊野庁舎大会議室において、熊野管内で多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる活動組織がより一層活発な活動に取り組むための機会を提供することを目的に、『第2回熊野地域のつどい』を開催しました。熊野農林事務所管内3市町で活動する13組織の方々と関係者を含め約40人の参加がありました。

はじめに主催者を代表して、熊野農林事務所 前橋所長に挨拶をしていただいた後、講演、DVD鑑賞、情報交換会を行いました。

講演では、事前アンケートで活動組織から要望の多かった活動記録や様式の記載方法を中心に、水土里ネットみえ

の庄村様から「事務簡素化のポイントと注意点」と題して説明をしていただきました。組織からは、大変役に立つ内容であったと好評でした。

続いてDVD鑑賞では、活動の参考にしてもらおうと、多面的機能支払交付金事業のしくみの紹介、草刈りの組織づくり、地域のつながり強化に関する内容を上映しました。後のアンケートには、講演と同様に「役に立つ内容であった」との意見が多数でありました。

最後の情報交換会では、各活動組織から年間の取組活動状況とともに、苦労している点や困っている事、工夫している点などを紹介してもらい、どの組織も同じような悩みや課題を抱え苦労している実情を知り、組織間でより交流しやすい雰囲気を作ることができました。

活動組織からの意見・要望では、高齢化・過疎化に伴い人手不足による将来への不安を始め、記入様式の更なる簡素化、交付金の使い勝手に関するものが多くの活動組織から挙がりました。特に、ある活動組織からは、「若い人がいてやる気があるのに草刈機がない。草刈機の購入を認めて欲しい」といった切実な要望もありました。

今年度で2回目となるつどいの開催でしたが、アンケート結果では多数の方から好評で、「とてもわかりやすい」「来年も開催して欲しい」といった回答をいただきました。今後も活動組織のみなさまの情報交換と交流の場となるよう、『熊野地域のつどい』を継続して開催していきたいと考えています。



所長挨拶



講演風景



情報交換会